



## 平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年1月13日

上場会社名 コーナン商事株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7516 URL http://www.hc-kohnan.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 疋田 直太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役・上席執行役員 (氏名) 宮永 俊一郎 TEL 072 (274) 1621  
 管理統括本部長 (兼) 総合企画部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第3四半期の業績 (平成26年3月1日～平成26年11月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	212,358	2.9	10,219	1.5	8,711	0.2	5,020	△0.7
26年2月期第3四半期	206,457	△0.1	10,070	△25.2	8,691	△28.3	5,053	△21.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	144.88	144.71
26年2月期第3四半期	146.06	145.66

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第3四半期	292,165	87,428	29.9	2,520.89
26年2月期	271,009	83,246	30.7	2,405.88

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 87,428百万円 26年2月期 83,246百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	16.00	—	16.00	32.00
27年2月期	—	16.00	—		
27年2月期 (予想)				16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年2月期の業績予想 (平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	280,000	2.3	12,500	4.3	10,500	2.4	6,000	404.0	173.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期3Q	34,682,113株	26年2月期	34,682,113株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	654株	26年2月期	80,985株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期3Q	34,650,311株	26年2月期3Q	34,601,578株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 当社は、平成27年1月13日（火）及び1月15日（木）に機関投資家向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
3. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
4. 補足情報 .....	7
(1) 商品部門別売上高明細表 .....	7
(2) その他 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

ホームセンター業界では、緩やかな景気回復基調が続く中、消費税増税前の駆け込み需要により生活必需品を中心に売上が大幅に伸び、一方、増税後の反動減は限定的なものにとどまったことから、夏場の天候不順や本格的な冬の訪れの遅れ等により季節品の動きが低調だったものの当第3四半期累計期間の売上はおおむね堅調に推移しました。今後については、景気持ち直しが期待される中、円安のゆくえや欧州の不安定な状況の影響も懸念され、相変わらず不透明な状況が続いております。

この様な状況のもと、当社は、当第3四半期累計期間にホームセンター10店舗（宮城県、茨城県、神奈川県、三重県、京都府、大阪府、奈良県、岡山県、福岡県）、プロを5店舗（宮城県、神奈川県、三重県、兵庫県、福岡県）出店した他、ホームセンター1店舗を閉店したため、11月末現在の店舗数は304店舗（ホームセンター259店舗、プロ45店舗）となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は212,358百万円（前年同四半期比2.9%増）となりました。商品部門別では、工具、塗料・作業用品、日用品、ペット用品等は堅調でしたが、住宅設備機器関連、家電、サイクル・レジャー等が低調な売上となりました。

売上総利益率が急速な円安進行に伴う仕入原価の上昇等から35.9%と前年同四半期比0.2ポイント低下しましたが、売上高が2.9%増加したことにより、売上総利益は76,152百万円（前年同四半期比2.1%増）となりました。営業収入は10,064百万円（前年同四半期比0.5%増）となり、店舗数の増加に伴う人件費、減価償却費などの増加により、販売費及び一般管理費が75,997百万円（前年同四半期比2.0%増）と増加したものの、営業利益は10,219百万円（前年同四半期比1.5%増）と増加しました。

経常利益は、8,711百万円（前年同四半期比0.2%増）と微増となったものの、四半期純利益は、5,020百万円（前年同四半期比0.7%減）と減益になりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (財政状態の変動状況)

当第3四半期会計期間末の総資産は前期末より21,155百万円増加し、292,165百万円となりました。建物が1,937百万円、その他有形固定資産が6,150百万円、商品及び製品が9,647百万円それぞれ増加したことなどによります。

当第3四半期会計期間末の純資産は87,428百万円で、自己資本比率は前期末より0.8ポイント低下し29.9%となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ749百万円増加し、5,073百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益が8,549百万円となった他、仕入債務の増加額9,176百万円などの収入がありましたが、たな卸資産の増加額9,512百万円及び法人税等の支払額3,343百万円などの支出により、9,523百万円の収入（前年同四半期比26.8%増）となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出8,043百万円及び差入保証金の差入による支出1,639百万円などにより、9,081百万円の支出（前年同四半期比39.4%減）となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、セール・アンド・割賦バックによる収入3,531百万円及び借入金の純増加額774百万円など収入がありましたが、割賦債務の返済額2,033百万円及び配当金の支払額1,094百万円などの支出により、307百万円の収入（前年同四半期比96.5%減）となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見込みとしては、売上高280,000百万円(前期比2.3%増)、営業利益12,500百万円(前期比4.3%増)、経常利益10,500百万円(前期比2.4%増)、当期純利益6,000百万円(前期比404.0%増)と見込んでおります。上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成26年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,342	5,092
売掛金	3,473	4,374
商品及び製品	65,461	75,108
原材料及び貯蔵品	784	649
繰延税金資産	1,484	1,578
その他	5,220	7,736
貸倒引当金	△192	△223
流動資産合計	80,573	94,317
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	81,250	83,188
土地	29,218	29,054
建設仮勘定	1,307	1,091
その他（純額）	20,551	26,701
有形固定資産合計	132,328	140,035
無形固定資産	4,804	4,618
投資その他の資産		
投資有価証券	1,541	1,058
破産更生債権等	21	—
差入保証金	46,776	47,143
繰延税金資産	2,042	1,364
その他	2,980	3,664
貸倒引当金	△58	△37
投資その他の資産合計	53,302	53,194
固定資産合計	190,435	197,847
資産合計	271,009	292,165
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	19,219	28,395
短期借入金	13,000	6,500
1年内返済予定の長期借入金	30,438	28,958
1年内償還予定の社債	625	312
未払法人税等	1,505	1,029
賞与引当金	1,236	1,884
店舗閉鎖損失引当金	55	4
その他	10,425	12,106
流動負債合計	76,504	79,190
固定負債		
社債	156	—
長期借入金	72,410	81,165
受入保証金	13,765	13,367
商品自主回収関連損失引当金	7,434	5,605
資産除去債務	2,125	2,216
その他	15,366	23,190
固定負債合計	111,258	125,545
負債合計	187,763	204,736

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成26年11月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	17,658	17,658
資本剰余金	17,917	17,921
利益剰余金	47,712	51,623
自己株式	△115	△0
株主資本合計	83,173	87,202
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	83	225
繰延ヘッジ損益	△10	△0
評価・換算差額等合計	73	225
純資産合計	83,246	87,428
負債純資産合計	271,009	292,165

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	206,457	212,358
売上原価	131,854	136,206
売上総利益	74,602	76,152
営業収入	10,011	10,064
販売費及び一般管理費	74,543	75,997
営業利益	10,070	10,219
営業外収益		
受取利息	99	99
受取配当金	35	24
為替差益	61	—
匿名組合投資利益	85	92
その他	125	150
営業外収益合計	408	367
営業外費用		
支払利息	1,608	1,571
為替差損	—	108
その他	179	195
営業外費用合計	1,787	1,874
経常利益	8,691	8,711
特別利益		
受入保証金解約益	98	366
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	51
特別利益合計	98	417
特別損失		
固定資産売却損	—	27
固定資産除却損	33	260
減損損失	116	292
特別損失合計	149	580
税引前四半期純利益	8,639	8,549
法人税、住民税及び事業税	3,752	2,956
法人税等調整額	△166	572
法人税等合計	3,586	3,528
四半期純利益	5,053	5,020

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	8,639	8,549
減価償却費	5,821	6,120
のれん償却額	124	124
商品自主回収関連損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△1,829
受入保証金解約益	△98	△366
固定資産売却損益 (△は益)	—	27
固定資産除却損	33	260
減損損失	116	292
受取利息及び受取配当金	△135	△123
支払利息	1,608	1,571
売上債権の増減額 (△は増加)	△972	△901
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△8,146	△9,512
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,280	9,176
その他	160	975
小計	14,433	14,364
利息及び配当金の受取額	41	30
利息の支払額	△1,531	△1,527
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△5,431	△3,343
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,511	9,523
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△14,163	△8,043
有形固定資産の売却による収入	—	148
投資有価証券の償還による収入	500	—
差入保証金の差入による支出	△2,058	△1,639
差入保証金の回収による収入	1,821	1,269
預り保証金の受入による収入	197	385
預り保証金の返還による支出	△574	△465
その他	△719	△736
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,997	△9,081
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	61,500	76,000
短期借入金の返済による支出	△53,000	△82,500
長期借入れによる収入	25,500	30,400
長期借入金の返済による支出	△23,343	△23,125
リース債務の返済による支出	△317	△403
セール・アンド・割賦バックによる収入	1,525	3,531
割賦債務の返済による支出	△1,531	△2,033
社債の償還による支出	△468	△468
配当金の支払額	△1,035	△1,094
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,828	307
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,342	749
現金及び現金同等物の期首残高	3,280	4,323
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,623	5,073



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 商品部門別売上高明細表

商品部門別	金額(百万円)	前年同期比(%)
ホームインプロブメント (DIY用品)	83,343	104.8
ハウスキーピング(家庭用品)	87,063	101.5
カー・レジャー (カー・レジャー用品)	38,796	102.1
その他	3,155	99.4
合計	212,358	102.9

(注) 1. 商品部門別の各構成内容は、次のとおりであります。

- (1) ホームインプロブメント (木材、建材、工具、建築金物、塗料・作業用品、園芸用品、園芸植物、資材、エクステリア、水道、住設機器、リフォーム)
- (2) ハウスキーピング (ダイニング用品、インテリア、電材・照明、日用品、収納用品、薬品、履物・衣料、家庭雑貨品、家電、介護用品、フード、酒類)
- (3) カー・レジャー (カー用品、ペット用品、文具・事務用品、サイクル・レジャー用品)
- (4) その他 (バラエティグッズ、書籍、自動販売機、灯油)

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) その他

当社は、当社が輸入事業者として輸入及び販売した電気用品について、電気用品安全法に定める商品の安全性に係る義務を果たしていない商品があることが判明しましたので、5月20日より自主回収しております。

なお、当該自主回収による当期業績に与える影響額は軽微であります。